

第 13 表

都道府県別林業概況

1) は「1970年世界農林業センサス」による概数。2) は農林省統計情報部「昭和50年林野面積統計」、3) は「林業生産統計年報」、4) は「木材需給報告書」並びに3)、4) は林野庁の業務統計によるものである。なお、林家とは保有山林が10a以上ある世帯のことで林業事業体を含んでいない。

都 道 府 県	1) 林 家 数 (昭45.2.1)			2) 林野面積	3) 保安林面積	4) 森林蓄積量	5) 造林面積	6) 森林伐採面積	7) 素材生産高
	総 数	農家の林家	非農家の林家	(昭50.1.1)	(昭53.3.31)	(昭45.4.1)	(昭52年中)	(昭52年中)	(昭52年中)
	戸			千ha	ha	千m ³	ha	ha	千m ³
全 国	2 565 859	2 279 254	286 605	25 011	7 138 090	1 913 436	272 107	196 899	33 793
北 海 道	93 519	76 424	17 095	5 664	1 559 358	526 562	95 627	32 453	8 444
	42 987	40 083	2 904	658	205 948	62 704	7 115	5 624	1 247
	69 586	65 302	4 284	1 177	307 189	78 312	14 103	12 625	1 709
	44 108	39 965	4 143	423	134 441	26 184	4 406	3 870	641
青 森 県	57 709	52 848	4 861	842	178 223	71 092	10 781	10 557	1 520
	49 904	46 219	3 685	649	201 188	41 654	4 194	3 956	512
	89 490	85 229	4 261	955	253 150	60 244	9 146	9 120	1 288
	64 452	61 788	2 664	215	27 811	17 664	1 358	1 416	439
山 形 県	46 901	43 716	3 185	361	154 286	31 407	3 076	3 395	656
	33 748	30 670	3 078	410	197 733	34 608	3 618	3 137	523
	31 566	27 859	3 707	130	43 086	12 073	860	845	175
	71 942	66 706	5 236	170	14 981	8 331	650	930	176
茨 城 県	43 981	10 224	33 757	79	13 284	7 384	209	236	99
	31 225	20 063	11 162	92	44 154	7 074	441	705	41
	102 383	93 959	8 424	779	350 685	56 595	4 142	3 947	445
	24 847	22 353	2 494	237	180 726	18 585	1 058	1 166	80
富 山 県	40 208	36 212	3 996	285	64 144	21 571	1 994	1 982	170
	35 301	31 614	3 687	310	109 412	24 293	3 515	3 553	249
	27 609	26 446	1 163	331	184 513	20 758	2 464	2 427	229
	96 850	91 241	5 609	1 012	467 294	83 597	5 581	5 033	934
岐 阜 県	64 755	57 293	7 462	854	323 592	58 838	8 520	8 096	1 023
	61 344	56 234	5 110	488	145 096	48 704	2 909	2 590	719
	51 729	37 199	14 530	228	30 886	18 371	1 267	1 473	321
	56 976	51 301	5 675	380	68 423	27 724	1 736	1 794	576
京 都 府	29 652	27 347	2 305	206	54 797	12 519	2 212	2 561	204
	45 538	38 452	7 086	346	67 403	27 183	2 069	2 022	246
	21 449	8 030	13 419	59	9 638	4 140	397	382	31
	86 070	73 629	12 441	573	156 335	31 881	4 353	3 813	367
大 阪 府	22 178	19 443	2 735	288	44 982	36 441	2 117	1 766	664
	31 394	27 395	3 999	362	87 294	28 993	2 821	2 740	397
	33 340	31 336	2 004	257	123 051	17 295	2 562	2 500	327
	68 515	63 273	5 242	522	154 887	27 189	7 120	5 926	632
鳥 取 県	90 486	84 988	5 498	490	146 080	22 030	6 307	5 863	528
	109 802	99 291	10 511	626	213 966	32 206	4 213	3 967	622
	75 288	68 602	6 686	437	74 224	19 203	3 431	3 498	506
	37 683	34 638	3 045	312	77 199	23 509	2 566	2 499	424
徳 島 県	24 699	22 864	1 835	90	19 873	4 229	568	497	58
	56 835	53 435	3 400	396	92 820	28 309	2 972	2 802	602
	48 490	42 142	6 348	582	84 132	40 599	6 795	6 153	896
	54 581	43 774	10 807	219	40 503	15 891	1 485	1 544	411
香 川 県	28 555	26 891	1 664	105	25 047	6 581	1 321	990	173
	57 728	52 412	5 316	238	21 933	11 140	2 782	2 710	235
	70 404	64 262	6 142	457	103 100	33 113	5 140	4 196	935
	64 427	60 282	4 145	452	91 835	30 267	7 369	5 730	689
高 知 県	53 856	49 839	4 017	589	112 911	43 840	6 898	6 555	1 445
	121 769	115 981	5 788	584	68 108	46 631	7 583	7 057	1 159
	93	8 369	5 918	256	198	26

第 7 章
水 産 業

第7章 水産業

概況

本府の漁業は、瀬戸内海に属する小海域に限られた大阪湾の東部約700平方キロメートルを主要漁場としている。西は明石海峡を経て播磨灘に通じ、南は友ヶ島を経て紀伊水道につらなる延長わずか70キロメートルの海岸線は8市4町に属し、漁港は昭和53年3月末日現在で12港、そのうち第1種は8港、第2種他は4港となっている。

主な漁場は前記大阪湾の東部で、海岸線から1,000～2,000メートル以内は漁業権漁場、その沖合は入会漁場となっている。

湾内漁類は外洋よりの回遊魚は少く、したがって湾内性、内海性の魚介類が大部分を占めている。

主な魚種は、「いわし」、「あじ」、「かれい類」、「ぼら」、「すずき」、「あなご」、「えび」、「たこ」など豊富であり、漁獲量は、昭和51年以降40,000トンを超えている。

なお、本府の漁場は、狭あいではあるが淀川をはじめ湾内に流入する河川が多いため魚の餌料生物に富んでおり、そのため単位漁場面積当たりの漁獲量は瀬戸内海でも高い水域となっている。

経営体数と漁船数

経営体数は、昭和53年11月1日現在実施の「第6次漁業センサス」によると、総数791経営体でそのうち個人経営体は750経営体(94.8%)を占め、第5次漁業センサス(昭和48年11月1日現在実施)と比較すると44経営体の減少となっている。

漁船数を登録されたものでみると、昭和53年12月末日現在では1,487隻で前年の1,446隻より41隻(2.8%)の増加となっている。

漁船種類別にみると、動力船は1,437隻で前年の1,386隻より51隻(3.7%)の増加、無動力船は50隻で前年の

60隻より10隻(16.7%)の減少となっている。

漁労日数と漁獲量

昭和53年中に漁業を営んだ日数は延べ10万3,045日で前年の10万1,877日より1,168日(1.1%)多くなっている。

総漁獲量は4万6,983トンで前年の4万1,340トンより5,643トン(13.7%)の増加となっている。

漁業種類別にみると、まき網(岸和田市、泉佐野市、堺市が中心)が75.7%で一番多く、つぎにパッチ網(岸和田市、高石市、堺市中心)が14.6%、底びき網(泉佐野市、岸和田市、阪南町中心)が7.2%となっており、さし網、小型定置網、釣り、はえなわ漁業と続いている。

又、魚種別にみると、魚類が4万4,761トン(総漁獲量の95.3%)、水産動物2,161トン(4.6%)、貝類、海藻類となっている。

なお、魚類のうち「いわし類」が3万5,569トンで79.5%を占めている。

内水面漁業漁獲量

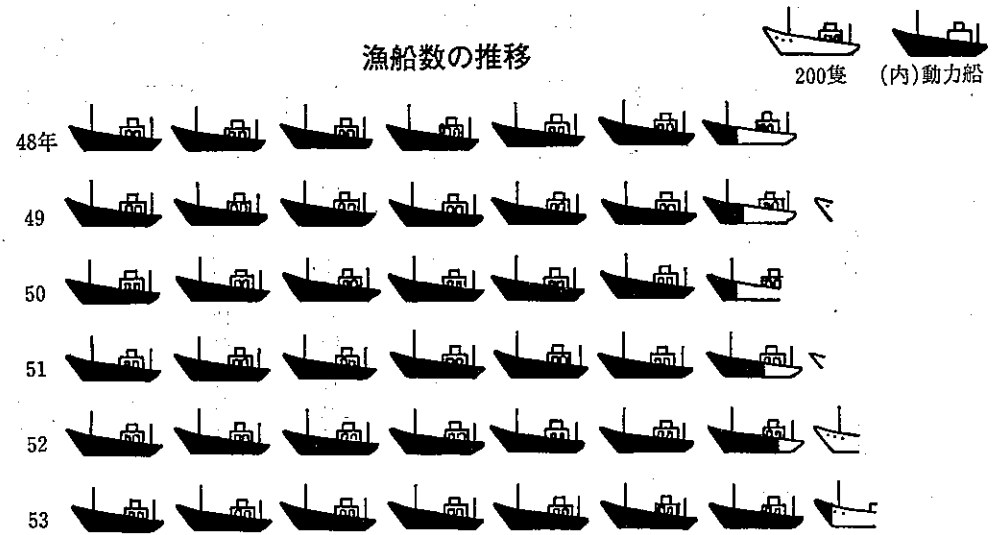
昭和53年中の内水面漁業漁獲量は29.4トンで前年の28.3トンより1.1トン(3.9%)の増加となっている。

主な魚種別にみると、あゆが9.9トン(総漁獲量の33.7%)で最も多く、ついでうなぎ6.5トン(22.1%)、ふな4.8トン(16.3%)、こい3.3トン(11.2%)となっている。

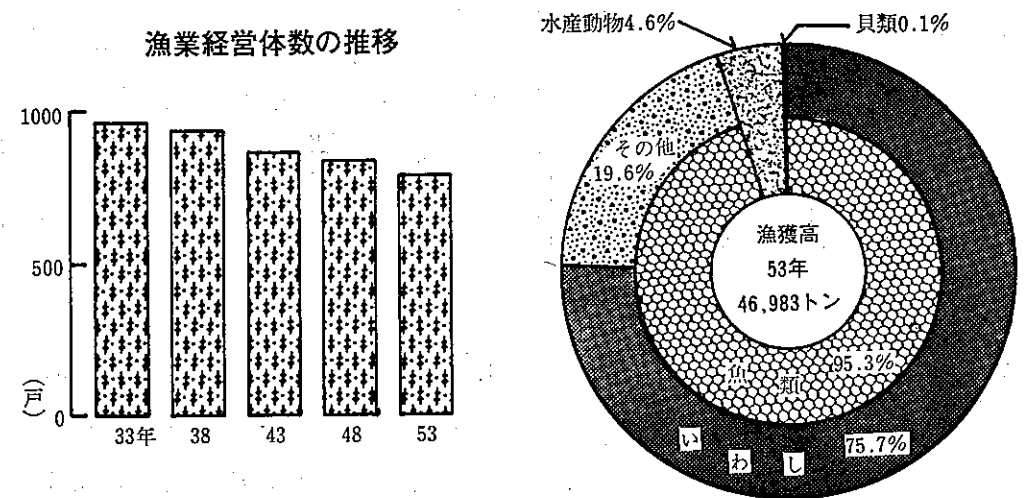
内水面養殖業収獲量

昭和53年中の内水面養殖業収獲量は639.5トンで前年の425.4トンより214.1トン(50.3%)の増加となっている。養殖種類別に主なものをみると、ふな養殖が477.5トン(総収獲量の74.7%)で最も多く、ついでこい養殖65.2トン(10.2%)、うなぎ養殖30.3トン(4.7%)となっている。

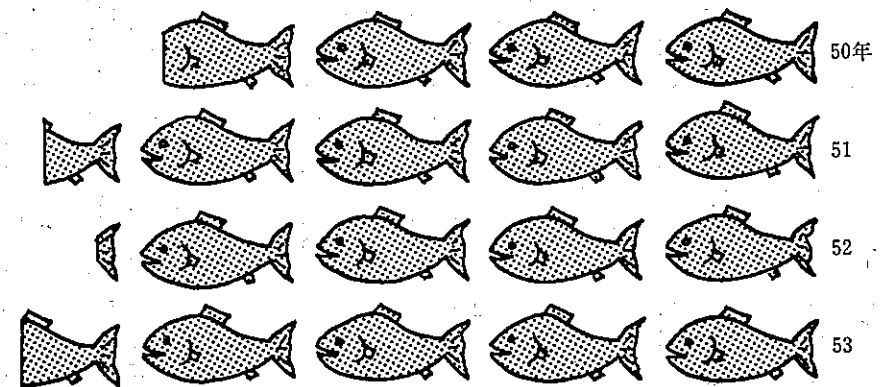
漁船数の推移



漁業経営体数の推移



年次別漁獲高(海面) -1尾1万トン-



第1表 市町別、経営組織別漁業経営体数（海面）

本表のうち昭和48年は11月1日現在「第5次漁業センサス」、昭和53年は11月1日現在「第6次漁業センサス」によるものである。

Table with columns for City/Town (市町), Year (昭和48年, 昭和53年), and Organization Type (総数, 個人経営, 会社経営, 漁業生産組合, 共同経営).

資料 大阪府企画部統計課調

第2表 漁港及び製氷・冷凍工場数

漁港は各年3月末現在、そのうち第1種とは、その利用範囲が地元漁業を主とするもの、第2種とは、その利用範囲の広いもの。製氷・冷凍工場は12月末現在、そのうち工場実数は製氷・冷蔵などを併設しているものを1として計上、各設備ごとの工場数は当該設備を所有する工場数を示す。なお、能力のうちt/Dは日産能力。

Table with columns for Year (年次), Port (漁港), and Ice/Cooling Plant (製氷・冷凍工場) with sub-columns for count and capacity.

資料 農林水産省統計情報部「第54次農林水産省統計表」

第3表 市町別、魚種

本表は「海面漁業漁獲統計調査」による。

Table with columns for City/Town (市町), Total Count (総数), and Fish Species (魚類) including various types like いわし, あじ, ぼら, etc.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第4表 市町別漁船数

本表は、各年12月末現在の登録であり、監視船試験船を除く。

Table with columns for City/Town (市町), Total Count (総数), Power Type (無動力船, 動力船), and Harbor (漁港数).

資料 大阪府農林部農政課水産室調

別漁獲高（海面）

Table with columns for Species (貝類, 水産動物, 海藻類) and their respective counts.

第5表 市町別、漁業種類別漁獲高(海面)

本表は「海面漁業漁獲統計調査」によるものである。

Table with columns for City/Town (市町), Total Catch (総数), and various fishing methods (底びき網, まき網, さし網, etc.). Rows include years from 1949 to 1953 and specific cities like Osaka, Sakai, and Kobe.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第6表 漁業種類別漁労日数(海面)

本表は「海面漁業漁獲統計調査」によるものである。採貝のうち漁船非使用分については出漁数は含まれていない。

Table with columns for Year (年次), Total Days (総数), and various fishing methods (底びき網, まき網, さし網, etc.). Rows include years from 1949 to 1953.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第7表 内水面漁業漁獲高

本表は「内水面漁業養殖業調査」によるものである。

Table with columns for Year (年次), Total Catch (総数), and various types of fish (魚類) and other aquatic products (その他の水産動物). Rows include years from 1949 to 1953.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第8表 内水面養殖食用魚収獲量

本表は「内水面漁業養殖業調査」によるものである。

Table with columns for Year (年次), Total Catch (総数), and various types of farmed fish (こい, うなぎ, にじます, etc.). Rows include years from 1949 to 1953.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第9表 主要水産加工物種類別生産量

本表は「水産加工統計調査」によるものである。

Table with columns for Year (年次), Processing methods (煮干し, 燻製), and various products (ねり製品, 冷凍魚, etc.). Rows include years from 1949 to 1953.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第10表 観賞魚販売量

本表は「内水面漁業養殖業調査」によるものである。

Table with columns for Year (年次), Total Sales (総数), and various types of ornamental fish (きんぎょ, こい, etc.). Rows include years from 1949 to 1953.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

第11表 漁家経済の概況(昭和52年瀬戸内海区)

家計費及び資産負債の年内増減については、II類漁家(調査漁家の取引のうち、家計費及び資産負債の年内増減を除外して調査する漁家)を除いた結果である。

注) 1) 漁家所得=漁業所得+漁業外事業所得+事業外所得。 2) 経済余剰=漁家所得-(租税公課諸負担+家計費)。

Table with columns for Stage (階層), Total Income (総額), and various income sources (漁業, 水産加工業, 農業, etc.). Rows include income brackets from 1-3 tons to 5-10 tons.

資料 農林水産省統計情報部「第54次農林水産省統計表」

第12表 都道府県別水産概況

48年はすべて11月1日現在の第5次漁業センサスの結果。(a)は翌年1月1日現在。(b)の総隻数は「漁船法」による水産庁調査のもので各年12月31日現在の海水動力船である。総トン数は、翌年1月1日現在。(c)は翌年3月31日現在。なお、総数には滋賀県の第1種漁港20を含む。(d)は遠洋漁業と沿岸、沖合漁業の合計であり、捕鯨業、海面養殖業は含まない。(e)の経営体数は種類別に算んだ経営体数を合計したものであり延経営体数である。

都道府県	(a) 漁業経営体数		(b) 漁船数		(c) 漁港数		(d) 漁獲高		(e) 海面養殖業	
	総数	(内)個人経営体	総隻数	総トン数	総数	(内)第一種 地元漁業を 主とするもの	漁獲高 (海面)	経営体数	収獲量	
昭和48年	227 962	220 723	298 429	2 012 011	2 824	2 156	9 793 029	94 089	790 962	
49	233 208	225 351	314 478	2 051 488	2 826	2 158	9 748 596	88 396	879 761	
50	227 452	219 530	345 879	2 173 846	2 832	2 164	9 573 068	82 734	772 741	
51	224 610	216 398	359 110	2 169 948	2 829	2 130	9 605 283	79 046	849 909	
昭和52年	222 395	219 172	373 066	2 101 077	2 851	2 152	9 694 699	76 370	861 389	
北海道	27 471	25 832	49 891	187 694	257	195	1 918 178	5 468	94 537	
青森県	7 807	7 648	12 365	88 721	83	67	452 653	2 622	10 664	
岩手県	8 815	8 582	16 656	37 477	113	89	193 616	10 519	67 090	
宮城県	7 752	7 604	12 101	115 962	144	127	565 476	10 607	92 095	
秋田県	1 756	1 629	3 356	7 930	19	11	28 132	365	586	
山形県	810	787	1 331	6 080	15	12	17 017	52	7	
福島県	1 408	1 323	2 339	33 930	14	9	311 621	215	1 096	
茨城県	1 029	996	1 868	29 735	24	16	337 426	-	-	
千葉県	7 839	7 577	12 304	29 342	70	46	381 513	2 860	14 138	
東京都	1 310	1 248	2 024	482 524	25	19	1 228 093	-	-	
神奈川県	2 162	2 033	4 087	40 867	24	17	101 879	1 024	3 741	
新潟県	3 735	3 593	6 789	16 375	64	47	79 123	969	4 649	
富山県	963	816	1 578	12 011	15	9	44 097	37	119	
石川県	3 377	8 262	6 685	30 053	69	50	132 804	251	5 062	
福井県	2 187	2 088	3 970	13 213	45	32	40 007	281	467	
静岡県	4 448	4 054	7 252	85 584	49	33	264 123	593	7 112	
愛知県	5 338	5 177	8 688	15 884	33	15	100 150	3 152	30 420	
三重県	11 531	11 226	18 860	69 310	70	41	220 090	7 714	52 226	
大阪府	1 610	1 547	3 136	4 262	38	29	44 204	221	872	
奈良県	806	760	1 392	3 728	12	8	41 340	126	2 284	
兵庫県	5 976	5 399	9 361	36 605	60	43	100 825	x	42 922	
岡山県	4 696	4 531	7 562	26 674	99	82	70 619	299	5 013	
広島県	1 403	1 282	2 773	19 841	17	13	221 589	x	31	
島根県	4 617	4 238	9 731	26 765	85	56	257 811	779	3 157	
山口県	2 671	2 595	5 193	6 513	28	19	13 830	822	28 298	
徳島県	5 607	5 461	8 980	19 966	46	25	25 133	1 473	127 073	
香川県	9 707	9 464	16 236	81 478	96	53	283 904	1 528	26 158	
愛媛県	3 359	3 272	6 154	15 088	29	16	46 526	1 366	15 032	
高知県	4 325	4 152	8 456	17 096	92	85	63 549	1 631	18 041	
福岡県	9 805	9 660	15 780	39 012	195	167	163 545	2 184	29 489	
佐賀県	5 668	5 384	10 669	68 480	92	79	102 869	767	14 414	
熊本県	7 150	6 905	9 890	123 944	66	41	408 740	4 215	32 517	
大分県	4 822	4 774	6 571	20 558	51	37	39 988	2 897	41 601	
鹿児島県	18 799	18 344	32 516	154 145	274	230	857 379	3 332	32 557	
沖縄県	11 784	11 689	14 591	21 925	105	78	132 081	3 308	24 722	
大宮	5 985	5 898	10 535	21 567	109	95	95 686	2 057	12 877	
鹿嶋	2 437	2 290	4 077	22 326	23	11	102 219	176	3 225	
沖縄	7 499	7 192	12 390	48 974	117	75	146 090	1 239	17 028	
糸島	3 931	3 860	4 929	19 442	64	55	60 774	15	69	

第8章
製造業